
平成27年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年3月5日

質問者（質問順）

- 1 望月高德委員（結ぶ会）
- 2 大貫憲夫委員（共産党）
- 3 上野盛郎委員（自民党）
- 4 渋谷健委員（自民党）
- 5 和田卓生委員（公明党）
- 6 大山しょうじ委員（民主党）
- 7 菅野義矩委員（民主党）
- 8 足立ひでき委員（みんな）
- 9 山田桂一郎委員（ヨコ会）

健康福祉局

局 別 審 査

1 望 月 高 徳 委 員（結ぶ会）

- 1 海外からの介護福祉人材就労支援事業について
 - (1) 事業の目的と支援内容について伺いたい。
 - (2) 事業目的の達成度と成果について伺いたい。
 - (3) 事業の課題について伺いたい。
 - (4) 課題解決の取組と今後の方向性について伺いたい。
 - (5) 介護人材不足を補うのが目的か、介護福祉士候補者の母国でのスキルアップが目的か、本市としての考えがあれば伺いたい。(要望) 中長期的視点をもって、事業を検証していただきたい。

- 2 斎場運営事業について
 - (1) 本市における斎場の設置数及び規模について伺いたい。
 - (2) 各斎場の火葬実績について伺いたい。
 - (3) 火葬待ちを少なくするため、これまで行った具体的な対策と現在の状況について伺いたい。
 - (4) 斎場を所管する健康福祉局として今後どう対応していくのか伺いたい。

- 3 障害者の就労支援について
 - (1) 共同受注総合センターの人員体制について伺いたい。
 - (2) 共同受注総合センターに登録する施設を増やすための方策について伺いたい。
 - (3) 企業からの発注を増やすためにどう取り組んでいくのか伺いたい。
 - (4) 就労支援センターの利用登録者の過去3年間の人数について伺いたい。
 - (5) 就労支援センターでの現状の職員体制と支援内容及び傾向について伺いたい。
 - (6) 就労支援センターの人員体制強化の中身及び見込んでいる具体的な成果について伺いたい。
 - (7) 就労支援センターの体制強化以外の就労支援策について伺いたい。

4 障害者の特別避難場所について

- (1) 障害者の特別避難場所における多目的トイレや仮設多目的トイレの整備状況について伺いたい。
 - (2) 今後、障害者の特別避難場所の福祉用具の備蓄についてどう考えているのか伺いたい。
- (要望) 特に多目的トイレは、あらゆる避難場所に整備できるよう、市内部での連携を図っていただきたい。

2 大貫憲夫委員（共産党）

1 小児医療費助成について

- (1) 県内における所得制限の状況と所得制限を撤廃した場合の所要額について伺いたい。
 - (2) 県内で所得制限をする自治体としない自治体の違いがある理由について伺いたい。
 - (3) 市民間で助成の有無に対して不公平感が出ると思うが、どうか。
 - (4) 所得制限をされる所得の高い方は市民税を多く支払っているのに助成が受けられないのは不合理ではないかと思うが、どうか。
 - (5) 本市ではいくから所得制限になるのか伺いたい。
 - (6) 制限対象に含まれている中間所得層は子育てなどで大変である。全市的な視点から財源を投入する必要があると思うが、どうか。
 - (7) 所得制限を撤廃して、一定の所得のある中間層を呼び込むことは、個人市民税の税収の増となり、市にとって良いことだと思うが、どうか。
 - (8) 中間層を増やすことは本市の財源確保にとって基本となる考え方だと思うが、どうか。
- (要望) 将来的には所得制限の撤廃と小学校3年生までの助成を小学校6年生、中学校3年生まで拡大していくことを要望します。

2 国民健康保険の収納対策について

- (1) 支払いが困難な滞納者への対応について伺いたい。
- (2) 小規模、零細事業者の現状をどう捉えているか伺いたい。
- (3) 小規模事業者の生活費が入っている口座を差押えるという事例がおこる理由について伺いたい。
- (4) 預金全額が差押えされると生活費に困る状況になるが、それをどのように考えるのか伺いたい。
- (5) 保険料を滞納している世帯数と滞納整理に関わる職員数について伺いたい。

- (6) 職員1人あたり1000人近い滞納者という状況できめ細やかな対応が出来るのか伺いたい。
- (7) 青葉区では何人の職員が対応しているのか伺いたい。
- (8) 青葉区の滞納世帯数について及び職員と嘱託員との仕事の違いについて伺いたい。
- (9) 1人の職員が2500人もの滞納者にきめ細かく対応出来ないと思う。そのような課題を解決するためにどのようにしていくのかについて伺いたい。
- (10) 研修などをして、職員数が少ない中できめ細やかに調査していくことは物理的に難しいと考えるが、どうか。
- (11) 今すぐにでも職員を増やさないといけないと思うが、どうか。

3 上野盛郎 委員（自民党）

1 27年度予算について

(1) 今回の健康福祉局の予算案について所感を伺いたい。

2 よこはまウォーキングポイント事業について

(1) 対象者を在勤者まで広げるねらいについて伺いたい。

(2) 募集の方法と目標数について伺いたい。

(3) 参加企業のメリットについて伺いたい。

(4) ウォーキングポイント事業の今後の展望について伺いたい。

3 総合的ながん対策について

(1) 条例の制定を受け、横浜市としてこの間、どのような取組を行ったのか伺いたい。

(2) がんの治療と仕事の継続に対して、どのような取組を行うのか伺いたい。

(3) がん対策の推進に向け、どのような計画を策定していくのか伺いたい。

4 がん検診事業について

(1) 現在の横浜市民全体の受診率について伺いたい。

(2) 女性の検診受診率を向上させるために、27年度に行う取組について伺いたい。

(3) 現在の精密検査の受診率について伺いたい。

(4) 精密検査の受診率を向上させるための取組について伺いたい。

(要望) 横浜市がん撲滅対策推進条例の、文字どおり「撲滅」に向けて、今後も力を入れて取り組んで成果を出していただきたい。

5 地域活動支援センター障害者地域作業所型等運営事業について

(1) 地域活動支援センター作業所型を設置している目的について伺いたい。

- (2) 地域活動支援センター作業所型の事業内容と1箇所あたりの予算規模について伺いたい。
- (3) 障害のある方の日中活動場所を確保していくための考え方について伺いたい。
- (要望) 地域で暮らす障害のある方々が、毎日をいきいきと過していけるように、日中活動場所の設置を確実なものにしていただきたい。

6 障害者グループホーム設置運営等事業について

- (1) 障害者グループホームの概要及び設置状況について伺いたい。
- (2) 今後の障害者グループホームの設置予定について伺いたい。
- (3) スプリンクラーの設置を推進するための取組について伺いたい。
- (要望) スプリンクラーの設置だけでなく、障害のある方と親御さんが安心して生活できるよう施策を進めていただきたい。

7 障害者共同受注総合センターの運営について

- (1) 共同受注総合センターを開所する背景について伺いたい。
- (2) 共同受注総合センターの業務内容について伺いたい。
- (3) 共同受注総合センターに期待する効果について伺いたい。
- (4) 共同受注総合センターの今後の展望について伺いたい。
- (要望) いろいろな課題もあるが、他都市に先がけて共同受注総合センターを成立させていただきたい。

8 在宅医療連携推進事業について

- (1) 27年度の在宅医療連携拠点の新規開設区について伺いたい。
- (2) 在宅医療と介護の連携を担う人材育成の取組について伺いたい。
- (3) 歯科医師や薬剤師との連携はどのように進めていくのか伺いたい。

9 認知症初期集中支援等推進事業について

- (1) 認知症への対応が遅れる理由について伺いたい。
- (2) 認知症初期集中支援チームはどのような支援を行うのか伺いたい。

(3) 今後の事業展開について伺いたい。

10 生活支援体制整備事業について

(1) 国が示す生活支援体制整備事業の概要について伺いたい。

(2) 27年度、具体的にどのような内容に取り組むのか伺いたい。

(3) 今後の検討の中でどのようなことが論点になると考えているか伺いたい。

11 特別養護老人ホーム整備事業について

(1) 要介護3以上で特別養護老人ホームの入所申込をされている方はどのくらいいるのか、また、入所待ち期間はどのくらいなのか伺いたい。

(2) 27年度しゅん工予定施設の進捗状況について伺いたい。

(3) 特別養護老人ホームの整備を進めていくうえで、入所希望者のニーズにどのように対応しているのか伺いたい。

(4) 特別養護老人ホームについて、今後どのように整備を進めていくのか伺いたい。

12 福祉人材確保事業について

(1) 27年度の人材確保に向けた取組について伺いたい。

(2) 介護職員定着支援事業の目的と内容について伺いたい。

(3) 事業者支援に向けて、今後どのように対応していくのか伺いたい。

13 地域福祉・交流拠点整備事業について

(1) これまでの整備状況と課題について伺いたい。

(2) 地域で特に有効に活用されている取組について伺いたい。

(3) 事業の見直し内容について伺いたい。

(4) 事業の今後の展開について見解を伺いたい。

14 市民後見人養成・活動支援事業について

(1) 現時点での第1期市民後見人養成課程修了者の受任実績について伺いたい。

(2) 第2期市民後見人養成課程の実施状況について伺いたい。

(3) 今後の市民後見人養成の考え方について伺いたい。

15 墓地計画のあり方について

(1) まだ売れ残っている民営墓地区画がある現状で、そんなに急いで墓地計画を許可しなくてもよいのではないかと考えるが、どうか。

(2) 新設の墓地についても、年間に何基を許可するのかなど、年次計画を立てて、それに基づいて許可を行う必要があるのではないかと考えるが、どうか。

(3) 現状で一定の距離規定を設けたうえで、墓地需要が高まって、墓地区画の供給が本格的に足りなくなった際に距離規定を緩和すればいいと考えるが、どうか。

(4) 宗教法人の市内事務所設置年数要件は、なぜ3年なのか。また、宗教法人登記事務所の現地確認や、宗教活動の実態を確認していると聞いているが、どのような視点で確認しているのか伺いたい。

(5) 墓地計画を申請する宗教法人の法令順守等の状況について、どのように確認しているのか伺いたい。

(6) 周辺住民との対話を拒否する姿勢で、条例に基づく紛争の調整や調停が行われることが困難な場合、どのように市は関わるのか伺いたい。

(7) 宗教法人の名義貸しについては、どのような視点で確認しているのか伺いたい。

(意見) 民営墓地については、紛争やトラブルが発生することが多い、今後の墓地計画においては、やはり、基本は本市において供給すべきと考える。

(要望) 市民に理解される墓地行政を進めるよう、強く要望します。

1 横浜臨床研究ネットワーク支援について

- (1) 横浜臨床研究ネットワークに参加する医療機関のメリットについて伺いたい。
 - (2) 横浜臨床研究ネットワークにおいてどのような人材が必要か伺いたい。
 - (3) 横浜臨床研究ネットワークにおいて、今後具体的に期待することは何か伺いたい。
- (要望) 横浜市大とも一体となり、より一層治験や臨床研究等が推進されるよう、必要な支援をしていただきたい。

2 薬物乱用防止対策について

- (1) 危険ドラッグに関する市内の事件・事故の件数について伺いたい。
- (2) 市内の危険ドラッグ販売店舗への取締り状況について伺いたい。
- (3) 来年度の啓発活動強化の考え方について伺いたい。

3 風しん対策事業について

- (1) 25年度に行った緊急風しん対策事業の実績について伺いたい。
- (2) 今回、改めて風しん対策に取り組むことの意義について伺いたい。
- (3) 今回の風しん対策事業の概要について伺いたい。
- (4) どのように市民周知に取り組んでいくのか伺いたい。

4 生活保護の現状と自立支援について

- (1) 本市における近年の生活保護の動向について伺いたい。
 - (2) 就労支援専門員の今年度の実績について伺いたい。
 - (3) ジョブスポットの設置状況と今後の展開について伺いたい。
 - (4) 生活保護受給者の健康管理に対する取組について伺いたい。
- (要望) 一人でも多くの生活保護受給者の自立のために、取組を進めていただきたい。

5 地域ケアプラザ整備・運営について

- (1) 新たな整備方針に基づく実績について伺いたい。
- (2) 未整備地区における事業化に向けた課題について伺いたい。
- (要望) 区との緊密な連携体制のもと、残り全ての整備事業を早期に完了していただきたい。
- (3) 今後、地域ケアプラザにどのような役割が求められるのか、考えを伺いたい。
- (4) 地域ケアプラザの地域活動支援にあたっての課題認識について伺いたい。
- (5) 地域活動を支える地域ケアプラザの質の向上のため、どのような取組を行っていくのか伺いたい。

6 地域福祉保健計画について

- (1) 第3期市地域福祉保健計画の内容と特徴について伺いたい。
- (2) 市地域福祉保健計画の推進状況について伺いたい。
- (3) 区計画策定を今後どのように行うのか伺いたい。
- (4) 地区別計画策定・推進の考え方について伺いたい。
- (5) 2025年を見据えた地域福祉保健計画による地域づくりの方向性について伺いたい。

5 和田卓生委員（公明党）

1 小児医療費助成について

（１）なぜ制度拡大を10月実施としたのか、また、その空白の半年間はどのように対応するのか伺いたい。

（要望）過去の制度拡大では、4月実施を行ったこともあり、次回は、4月実施できるように、努力することを要望します。

（２）現行制度で、所得制限により対象外となっている子どもがどのくらいいるのか伺いたい。

（３）所得制限の撤廃が行われてこなかったことについて、どのように考えているのか伺いたい。

（要望）できるだけ早く小学6年生までの拡大と所得制限の撤廃を実施されるよう強く要望します。

2 動物愛護センター事業について

（１）動物保護管理業務について

ア 25年度の犬や猫の収容実績と処分実績はどのようになっているのか伺いたい。

イ 殺処分の基準は何か伺いたい。

ウ 自然死するまで飼育管理することはできないのか伺いたい。

（２）猫の不妊去勢手術推進事業について

ア 猫の不妊去勢手術推進事業の概要について伺いたい。

イ 26年度の現時点での実施状況について伺いたい。

ウ 27年度の事業実施にあたり改善する点について伺いたい。

エ 猫の不妊去勢手術推進事業の今後の取組について伺いたい。

（要望）犬や猫の殺処分ゼロを目指し、今後も猫の不妊去勢手術推進事業を着実に実施することを要望します。

3 総合的ながん対策について

- (1) 市内がん拠点病院等の連携を進めていくための方策について伺いたい。
- (2) 市内緩和ケア病床の状況と、今後の緩和ケアの充実に向けた取組について伺いたい。
- (3) 27年度の小児がん対策の取組内容について伺いたい。
- (4) 今後の市のがん対策をどのように進めていくのか伺いたい。

4 在宅医療連携推進事業について

- (1) 地域包括支援センターと在宅医療連携拠点の役割分担について伺いたい。
- (2) 緊急一時入院の仕組みの概要について伺いたい。
- (3) 各区における緊急一時入院先の病院の確保状況について伺いたい。
- (4) 在宅医療連携拠点における医師確保のための取組について伺いたい。

5 定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

- (1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を切り札と評価した理由は何か伺いたい。
- (2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の現在の整備状況について伺いたい。
- (3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護と複合型サービスとの違いと、適した対象者はどのような方々なのか伺いたい。
- (4) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者数が伸びない理由について伺いたい。
- (5) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をより普及させるための今後の取組について伺いたい。

6 施設における高齢者虐待について

- (1) 市内の高齢者施設における高齢者虐待の発生状況はどうか、また、どのような事例なのか伺いたい。
- (2) 施設における高齢者虐待は、どのように通報されるのか、それに対する本市の対応はどのようなものか伺いたい。
- (3) 施設内虐待増加の背景として何が考えられるのか伺いたい。

(4) 施設における虐待を減らすために、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

7 福祉人材確保について

- (1) 介護職員の充足状況についてどう把握しているのか。
- (2) 介護に従事する高齢者の割合について伺いたい。
- (3) E P A 候補生の受入と合格者の実績について伺いたい。
- (4) 今後、介護職員をどのように確保していくのか伺いたい。

8 市民後見人養成・活動支援事業について

- (1) 第1期市民後見人養成課程修了者の受任実績に対する評価について伺いたい。
- (2) 市民後見人の受任案件や報酬の考え方について伺いたい。
- (3) 横浜市市民後見人バンク登録者に対する支援の考え方について伺いたい。
- (4) 今後の市民後見人養成・活動支援事業の普及・啓発について伺いたい。

9 生活保護の適正実施について

- (1) ケースワーカーの配置数と、担当する生活保護世帯数について伺いたい。
- (2) 本市における25年度の不正受給の状況について伺いたい。
- (3) 不正受給の防止策について伺いたい。
- (要望) 眼鏡の支給限度額が2万円を超えているなど、実態とかけ離れた基準について、必要な制度改正をしっかりと国に申し入れるよう要望します。

6 大 山 しょうじ 委員（民主党）

1 新設される医療局について

- (1) 医療政策室のこれまでを総括する意味も含めて、どのような施策を展開してきたのか伺いたい。
 - (2) 医療政策を推進していく上での課題について伺いたい。
 - (3) 医療と保健・福祉の連携について、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。
 - (4) 医療局の設置にあたり、新たにどのような取組を行うのか伺いたい。
- (要望) 市内医療機関等や保健・福祉分野と十分な連携を図り、将来の医療ニーズを見据えた施策を積極的に展開していただきたい。

2 災害医療体制の確保について

- (1) 市や区の単位で具体的にどのような訓練を行ってきたのか伺いたい。
- (2) 訓練を通じてどのような課題があり、今後どのように対応するのか伺いたい。

3 ICT及びビッグデータの活用の検討について

- (1) ICTを活用した地域医療ネットワークの構築により、どのような効果があるのか伺いたい。
- (2) ICTを活用した地域医療ネットワークの検討における平成27年度の具体的な取組内容について伺いたい。
- (3) ビッグデータを分析することで、得られる効果について伺いたい。

4 在宅医療連携推進事業について

- (1) 市民に対する在宅医療の啓発の取組について伺いたい。
- (2) 在宅医療連携拠点での市民からの相談の対応について伺いたい。

5 災害時要支援者支援事業について

- (1) これまでの地域における災害時要援護者支援の取組状況とその評価について伺いたい。
 - (2) 行政から災害時要援護者名簿の提供を受ける場合、どのような義務や負担が求められるのか伺いたい。
 - (3) 中期計画の目標達成に向けて、今後どのように災害時要援護者支援の取組を進めていくのか伺いたい。
- (要望) 今後も地域の実情に合った要援護者支援の取組をはじめ共助の取組が進むよう、行政からの積極的な支援を行っていただきたい。

6 若年性認知症施策について

- (1) 本市における若年性認知症の人数について伺いたい。
- (2) 若年性認知症の課題について伺いたい。
- (3) 若年性認知症支援の取組について伺いたい。

7 地域リハビリテーション活動支援事業について

- (1) 地域リハビリテーション活動支援事業の目的と内容について伺いたい。
- (2) 事業の進め方とスケジュールについて伺いたい。
- (3) 全市展開したときに、派遣に必要な専門職の確保をどう考えているのか伺いたい。
- (4) どのような事業効果を期待して取組むのか、局長の意気込みを伺いたい。

8 高齢者施設・住まいの相談センター運営事業について

- (1) 高齢者施設・住まいの相談センターを設置する理由について伺いたい。
- (2) 相談センター開設により期待される効果について伺いたい。
- (3) 相談センターが、全市的な相談ニーズにどのように対応していこうと考えているのか伺いたい。

9 障害者優先調達推進法への対応について

- (1) 25年度の調達の状況と課題について伺いたい。

- (2) 優先調達を進めるための26年度の取組について伺いたい。
- (3) 今後の調達方針における目標設定の考え方について伺いたい。
- (4) 障害者施設等への優先調達をさらに促進するためには全庁的な推進が必要だと考えるが、どうか。

10 障害者グループホームのスプリンクラー設置費補助について

- (1) スプリンクラーの設置が義務付けられるのは、どのようなグループホームなのか伺いたい。
- (2) 法人運営型の障害者グループホームにおけるスプリンクラーの設置状況について伺いたい。
- (3) スプリンクラーの設置にかかる費用と、それに対する補助制度について伺いたい。
- (4) 設置の義務にかかわらず、スプリンクラーの設置を進めるべきと考えるが、どうか。

11 がん検診事業について

- (1) がん検診への社会的な関心を高めるための取組について伺いたい。
- (2) 受診しやすい環境を整備するために行っている取組について伺いたい。
- (3) 精密検査を受けない人を受診に結び付けるためにどのような工夫をしていくのか伺いたい。

7 菅野義矩委員（民主党）

1 精神疾患の既往歴のある方の救急医療対策について

- (1) 精神疾患の既往歴のある救急患者の現状について伺いたい。
- (2) 救急医療検討委員会で検討されている救急医療体制について伺いたい。
- (3) 今後の具体的な取組について伺いたい。

2 地域における高齢者・障害者等の孤立・孤独に関する対策について

- (1) これまでの取組状況について伺いたい。
- (2) モデル事業の実施状況及び27年度の取組内容について、またモデル事業を踏まえた孤立予防の今後の取組について伺いたい。

8 足立ひでき委員（みんな）

1 地域で支える介護者支援事業について

- (1) 認知症ケアパスとは、どのようなものか伺いたい。
- (2) 認知症ケアパスは、市民の認知症に対する関心を高める内容とすることが重要と考えるが、どうか。

2 地域福祉権利擁護事業と市民後見人養成・活動支援事業について

- (1) 区社協あんしんセンターが実施する地域福祉権利擁護事業の現状について伺いたい。
- (2) 地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行の取組状況について伺いたい。
- (3) 市民後見人が受任する案件の考え方について伺いたい。

3 高齢者施設の地域交流について

- (1) 特別養護老人ホームの入所者と地域の子供たちとの具体的な交流の事例について伺いたい。
- (2) 地域の子供たちと入所者との交流が日常的に行われるようになるための課題について伺いたい。
- (3) 社会福祉法人の地域貢献のひとつとして、地域の子供たちとの積極的な交流を進めるべきと考えるが、どうか。

1 在宅医療の推進について

- (1) 本市の在宅医療提供体制の状況について伺いたい。
- (2) 在宅医療の具体的な診療内容について伺いたい。
- (3) 在宅医療の高齢者を孤立化させないための取組について伺いたい。
- (4) 質の高い在宅医療提供に向けた本市の取組について伺いたい。
- (5) 在宅医療を担う医師育成に向けた、横浜市立大学と連携した取組について伺いたい。
- (6) 在宅医療に関わる医療・介護関係者の相互理解を深めるための取組について伺いたい。
- (7) 在宅医療におけるICT化の方向性について伺いたい。
- (8) 在宅医療の推進に向けた本市の考えについて伺いたい。